

農業における先端技術活用の 加速化を目指して II

農林水産業の強化を図るためには、今やICTやAI、ロボット等の先端技術は欠かせない存在となっています。このシンポジウムでは、農業における先端技術活用の有効性や課題を多面的に捉え、その加速化に向けたこれからの展望について論議を深めます。

農業者をはじめとして、スマート農業にご関心のある関係者の皆様にとって有益な内容となっておりますので、是非ご参加いただきたくお願い申し上げます。

日時：令和2年 2月14日（金） 13：00～16：50

会場：日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール（地下1F）

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

申込方法：事務局JATAFFのHPからお申し込みください。

<https://www.jataff.jp//project/consulting/symposium.html>

申込締切：令和2年2月10日（月）

※当日、会場に余裕がある場合に限り、事前申込なしでのご入場も可能です。

参加
無料

プログラム

※講師・ファシリテーターのプロフィールは裏面をご覧ください。

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 【開催宣言】事務局（JATAFF） | 13:00～13:05 |
| 【挨拶】農林水産省 農林水産技術会議事務局 | 13:05～13:10 |
| 【第一部：生産者視点で捉える先端技術活用の営農への意義と課題】 | |
| 1) 「葉物野菜のハウス栽培における高機能化の限界への挑戦」 | 13:10～13:40 |
| 高瀬 貴文 氏（株式会社 果実堂 代表取締役社長） | |
| 2) 「土壌改良から見る、次の手立てスマート農業」 | 13:40～14:10 |
| 尾藤 光一 氏（有限会社尾藤農産 代表取締役） | |
| 3) 「ハウス内環境調節の創意・工夫から統合環境制御への発展的取り組み」 | 14:10～14:40 |
| 内野 貴人 氏（内野農園 代表） | |
| 4) 「農業分野へのIT導入支援実績を踏まえたスマート化の意義と課題」 | 14:45～15:15 |
| 堀 明人 氏（一般社団法人日本農業情報システム協会 専務理事） | |
| 【第二部：アグリビジネス展開支援事業の活動状況 / 前年度発表の続編！】 | |
| 1) 「スマート農業時代における経営分析クラウドの実証活動の総括」 | 15:15～15:40 |
| 谷 奈津美 氏（テラスマイル株式会社 開発・プロジェクトリーダー） | |
| 2) 「スマート農業時代における養豚経営支援システムの実証活動の総括」 | 15:40～16:05 |
| 神林 隆 氏（株式会社Eco-Pork 代表取締役） | |
| 【第三部 総合討論：農業における先端技術の活用を加速するための課題と方向性 | 16:05～16:50 |
| ファシリテーター 三原 洋一 氏（NKアグリ株式会社 代表取締役社長） | |

講師・ファシリテータープロフィール

①「葉物野菜のハウス栽培における高機能化の限界への挑戦」

高瀬 貴文 氏（株式会社 果実堂 代表取締役社長）

農業の成長産業化への強い思いから大手建築企業から農業に転身、ペピーリーフ・トマト・バジル・レタス・枝豆などの栽培に取り組む。徹底したデータ管理に基づくサイエンス農法の実践で、限界を超える高回転ハウス栽培に挑戦している。



②「土壌改良から見る、次の手立てスマート農業」

尾藤 光一 氏（有限会社尾藤農産 代表取締役）

十勝芽室町の農家の4代目として生まれ、1969年、有限会社尾藤農産を設立。地域密着の農業を続け、糖度としっとり感が特徴の「雪室熟成」じゃがいもを各地に届けている。また、土壌研究グループSRUのメンバーとして、土の中を科学的に分析し、健康な作物を持続的に作れる農業の実践に取り組んでいる。



③「ハウス内環境調節の創意・工夫から統合環境制御への発展的取り組み」

内野 貴人 氏（内野農園 代表）

実家の農家で代表を担っていた父親の一線からの引退を切っ掛けに本格的に農業を始め、16年間キュウリのハウス栽培をメインに、米、麦の生産に取り組む。キュウリの生育と環境要因との関係に関心を抱きつつ試行錯誤で好成績につなげ、現在では統合環境制御盤など最新技術を積極的に取り入れた先駆的なハウス栽培を実践している。



④「農業分野へのIT導入支援実績を踏まえたスマート化の意義と課題」

堀 明人 氏（一般社団法人日本農業情報システム協会 専務理事）

明治大学卒業後、一貫して情報通信業界で20年間活動。その間経験した米国留学・英国勤務を通じて自分らしく生きるライフスタイルに強く憧れ39歳で独立。ITコンサルタントとして、農業をはじめとする様々な事業分野で、ITに振り回されない・ITに使われない、等身大で現実的で実利的なIT活用の支援に尽力している。



⑤「スマート農業時代における経営分析クラウドの実証活動の総括」

谷 奈津美 氏（テラスマイル株式会社 開発・プロジェクトリーダー）

大阪大学卒業後、都内のSI企業でSEとして勤務。地方活性化に興味を持ち、そのためには農業の仕組みを変える必要があると考えテラスマイルへ入社。経営分析クラウド「RightARM」の開発を行っている。



⑥「スマート農業時代における養豚経営支援システムの実証活動の総括」

神林 隆 氏（株式会社Eco-Pork 代表取締役）

平成29年11月29日、平成で一度の肉の年-いい肉の日にEco-Pork社設立。外資系コンサルティングファームにてテレコム領域の経営戦略・新規ビジネスモデル企画などに従事した経歴を持つ。世界で最も消費されている食肉である豚肉の生産性を高めることを目指し、養豚経営支援システム「Porker」の普及に専心する。



⑦ 総合討論ファシリテーター 三原 洋一 氏（NKアグリ株式会社 代表取締役社長）

前職はLED照明のベンチャー企業に勤務。2009年より、親会社であるノーリツ鋼機(株)の子会社にて、新規事業開発に従事。NKアグリ(株)の設立から担当しており、2012年2月より代表取締役に就任。リコピンを多く含む機能性ニンジン「こいぐれない」のビジネスモデルで2017年度グッドデザイン賞ベスト100、および特別賞「ものづくり」受賞。



【会場へのアクセス】



会場

日比谷図書文化館
日比谷コンベンションホール（地下1F）
（東京都千代田区日比谷公園1-4）

交通

- 東京メトロ
丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口より徒歩約3分
千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」
A7出口より徒歩約3分
- JR 新橋駅 日比谷口より徒歩約10分

【事務局】

（公社）農林水産・食品産業技術振興協会
石脇 尚武

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階

TEL：03-3586-8644 FAX：03-3586-8277

E-mail：n-ishiwaki@jataff.jp